

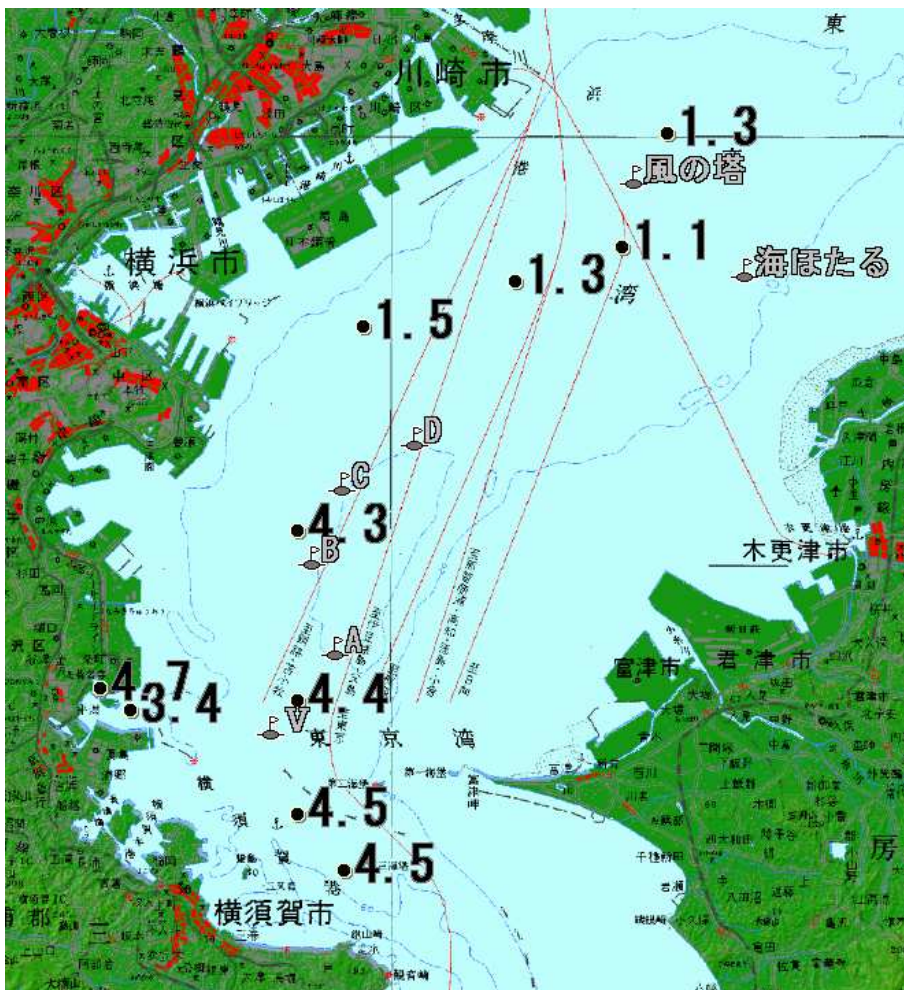
南部海域では溶存酸素量がやや回復しました。

東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター
2007/07/17

神奈川県小型機船底びき網漁業者協議会が
横浜市漁協柴支所の大六丸により東京湾調査を実施しました。

- 水温は、表層で 22℃ 台、底層では 17℃ 台で 5℃ 程度低めです。
- 表層の塩分濃度はかなり低めですが、外洋からの高塩分水が中の瀬の付近の底層まで波及しています。
- 貧酸素水塊 (≦2.5ml/l) は中の瀬の北へやや後退しました。
- 柴漁港内やあなごの活け場でも溶存酸素量はやや高くなりました。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター
資源環境部
電話 046(882)2313

貧酸素水塊がみられます。
表層と底層の水温差もあります。
漁獲物の取り扱いにご注意下さい。